

# 狛江市立狛江第四中学校

## 学校だより 第6号



令和5年8月28日

<http://www.komae.ed.jp/jh>

### 【2学期を迎えるにあたって】(2学期始業式より)

校長 佐伯 英徳

35日間の夏休みが終わりましたが、有意義な日々を送ることはできましたか。比較的過ごしやすかった昨年とは異なり、今年は最高気温が35度を超える「猛暑日」が7月に入ってから全国各地で相次ぎ、全国の平均気温が7月としては、この100年余りで最も高かったとのこと。8月に入っても猛暑が続いていて、皆さんも熱中症に細心の注意を払いながら様々な活動に取り組んだことと思います。ここで周囲を見渡すと今年は決して平和で安全な夏ではなく、ウクライナの危機的な状況は相変わらずで、台風やハワイの山火事などの自然災害や水の事故等も発生していて、こうして当たり前の日常を送れることに心から感謝したいと思います。2つ、話をします。



1つは、夏休み中の部活動についてです。四校の合同チームで結成された野球部が多摩地区大会に進出し、東京都中体連支部の第9ブロック代表決定戦では3位、また、バレーボールとバスケットボールの狛江杯が開催されましたが、8月18日に予定していたサッカーの方は熱中症の危険から延期になっています。さらに、府中の森芸術劇場において合唱部が「NHK全国学校音楽コンクール」、吹奏楽部が「東京都中学校吹奏楽コンクール」にそれぞれ出場し見事な演奏を披露してくれました。結果の方は、合唱部が「金賞」で予選を通過し本選で「銀賞」、吹奏楽部も「銀賞」を獲得し、いずれも昨年を超える成績でした。水泳部は都大会への出場と狛江五小のプールでの練習、美術部は絵具工場と世田谷美術館への見学や体験に出かけて夏休みならではの有意義な活動ができたと思っています。いよいよ部活動の方も2年生が中心になりますが、目標に向かって何事にも前向きに取り組んでほしいと思います。2学期も合唱祭をはじめとする様々な活動が予定されています。コロナも扱いが5類になっても終息しているわけではありませんので、引き続き体調管理をしっかりと行いながら活動してほしいと思います。

2つは、8月14日、成城大学において開催された前WBC日本代表監督の栗山英樹さんの講演会についてです。本校からは生徒と教員合わせて36名が参加しました。キャリア教育特別講演会として「夢に向かう皆さんへのエール」というテーマで行われましたが、大谷選手の凄さや源田選手の骨折の話等のWBCの裏話を交えながら栗山さんが歩んできた人生の話、その中で「人は一人一人違っていいし、その中で自分のことを大切にしてほしい」「自分を信じれること」「努力して頑張れるのは一つの才能で、それが得意な人も苦手な人もいる」「本当に自分がそうしたいんだろうと選んだ道というのは結構正しい方向に導いてくれます」「うまくいかないことがいっぱいあると、これからうまくいく可能性があると考えてもらいたい」等の示唆に富んだ話をたくさん聞くことができました。講演の最後には生徒たちからの様々な質問にも栗山さんは優しく答えてくれて、とても清々しい気持ちになり元気をもらえた講演会でした。

さて、今日から2学期が始まります。3年生にとっては、中学校生活も残すところ、あと7ヶ月、卒業式まで、あと135日です。進路決定に向けて、悔いの残らないよう、一日一日を大切に過ごして欲しいと思います。1、2年生にとっては、いよいよ、みなさんが、この狛江四中を動かしていく番になります。9月14日には、生徒会役員選挙が行われ、7名の新役員が決まります。選ばれた新しい生徒会役員の人たちが中心となり、四中の良き伝統を引き継ぎ、自分を信じ、仲間を信じ、互いを認め合いながら成長していき、生徒全員が四中生であることに誇りを持てるような学校を作ってほしいと願っています。